

授業科目 全人的医療論

| | | | | |
|-----------------------------------|------|----|-------|----------------|
| 【担当教員名】 遠藤 和男 5学科から推薦された各教員 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 理学・作業・言語・健康・社会 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

<概要> 「全人的医療」という用語も人それぞれ捕らえ方が異なっており、例えば肉体的な疾患だけでなく、心身症への対応を主とする場合もあるし、チーム医療を全人的医療の基本と考える場合がある。そこで本学では、①チーム、②地域、③人間性尊重を3つの大きな柱として、本学独自の「全人的医療」論を構築していきたいと考えている。

<一般目標：G I O>

将来医療の現場で対象者を病像として捉えるのではなく、トータルな人間像として接する全人的医療に貢献するために、従来の疾患、病院、管理センターの医療の反省を踏まえた上で、チーム、地域性及び人間性を尊重した医療の方法論を修得する。

<行動目標：S B O>

1. 全人的医療の特徴及び重要性を説明できる。
2. 現代医療の様々な問題点を説明できる。
3. 疾患中心の医療と全人的医療との違いを指摘できる。
4. 病院から地域へと移行する場合の利点と欠点を説明できる。
5. チームの一員であるという自覚を持ってグループ討議に参加する。
6. チーム医療における自己の専門職種役割を模倣する。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | | SBO |
|----|-------------|---------------------------------|-------------------|
| | | | 番号 学習方法・学習課題/担当教員 |
| 1 | 全人的医療とは | 歴史的おな背景を踏まえ、「全人的医療」の重要性について学ぶ。 | 1 講義/遠藤 |
| 2 | 現代医療の問題点 | 疾患、病院、管理センターの医療の問題点についてKJ法を用いる。 | 2,3 小グループ討議/遠藤 |
| 3 | 地域医療の理念 | 現実に地域医療を実践している医師から方法論を学ぶ。 | 3,4 講義/外来講師 |
| 4 | 地域医療と専門性 | 目指す専門職種として自分は地域医療にどう関わるか討議する。 | 3-5 小グループ討議/遠藤 |
| 5 | 理学療法士の役割 | 全人的医療における理学療法士の役割について学ぶ。 | 5,6 方法未定/理学療法学科教員 |
| 6 | 事例検討1 | 参考書に記載された事例にチームとしてどう関わるか討議する。 | 5,6 小グループ討議/遠藤 |
| 7 | 作業療法士の役割 | 全人的医療における作業療法士の役割について学ぶ。 | 5,6 方法未定/作業療法学科教員 |
| 8 | 事例検討2 | 参考書に記載された事例にチームとしてどう関わるか討議する。 | 5,6 小グループ討議/遠藤 |
| 9 | 言語聴覚士の役割 | 全人的医療における言語聴覚士の役割について学ぶ。 | 5,6 方法未定/言語聴覚学科教員 |
| 10 | ロールプレイ1 | 事例をもとに患者さん役と医療スタッフ役のシナリオを作成する。 | 3,5 討議から全体発表/遠藤 |
| 11 | 管理栄養士の役割 | 全人的医療における管理栄養士の役割について学ぶ。 | 5,6 方法未定/健康栄養学科教員 |
| 12 | ロールプレイ2 | 事例をもとに患者さん役と医療スタッフ役のシナリオを作成する。 | 3,5 討議から全体発表/遠藤 |
| 13 | 社会福祉士の役割 | 全人的医療における医療ソーシャルワーカーの役割について学ぶ。 | 5,6 方法未定/社会福祉学科教員 |
| 14 | これからの医療体制 | 第2回目の「島」に対する対策を二次元展開法によって図示する。 | 1-6 小グループ討議/遠藤 |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--------|--------------------------------|----------------|-------|---------------|
| 教科書 | チーム医療論 | 鷹野和美編著 | 医歯薬出版 | 2002、¥2,000+税 |
| 参考書 | バリエーション療法—全人的医療入門 | 池見西次郎監修、永田勝太郎編 | 医歯薬出版 | 1995、¥4,369+税 |
| | ケースメソッドによる公衆衛生教育 | 矢野栄二ら編 | 南江堂 | 2000、¥2,500+税 |
| その他の資料 | 遠藤が担当する場合、参考書の事例についてレジュメを配布する。 | | | |

| 【評価方法】 | 【履修上の留意点】 |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1. 普段から出席と観察記録をつけている。 | 1. 小グループ討議を中心にしたので、余り希望者が多いと開講できない。 |
| 2. 最終回にレポートを提出させる予定である。 | 2. 1年次に「医療福祉ティームワーク論」を履修しなかった者を優先する。 |
| | 3. 昨年度は希望者が少なかったため、開講しなかった。 |